

スペイン・バリャドリード大学
交換留学報告書

静岡県立大学 国際関係学部

国際言語文化学科 4年 ヨーロッパコース

スペイン・バリャドリード大学セゴビアキャンパスへの交換留学は苦労もあったが結果としては、非常に満足いく留学生活を送ることができた。初の海外長期滞在となったが、特にトラブルに合うこともなく、無事に終えることもできた。

私が住んでいたセゴビアは、小さくのどかな街で、その中心には世界遺産に登録されている水道橋やアルカサルのある観光地でもあった。近くに山間部があることから、比較的寒い気候であったが、首都であるマドリードからも遠くなく適度に生活しやすい場所であった。

私の通っていた大学は、13世紀に創立された歴史ある大学で、本拠地バリャドリードだけでなく、セゴビアを含む4か所にキャンパスを展開している。毎年世界各国からも留学生を受け入れている。私が学んだセゴビアキャンパスは、世界遺産の街という特色から観光学に力を入れており、私も主に観光学の講義を受講した。講義では、スペインの観光業の発展の歴史や現在の特徴、地域ごとの特色などを学んだ。講義形式は基本は座学だが、学生同士で問題を考える機会やグループでプレゼン発表をすることもあり、とても実践的なものであった。自分のスペイン語力不足もあり当初は講義についていくのかなり苦労したが、教授やクラスメイトの助けのおかげで少しずつ慣れることができた。現地の学生と共に講義を受ける経験は交換留学ならではの貴重な経験ができたのではないかと。また、セゴビアキャンパスでは、日本人留学生の

受け入れは初だったそうで、あまり日本人への馴染みはない印象を受けたが、教授や学生たちはとても温かく接してくれた。

セゴビアではアパートに他に3人の留学生と共同で生活していた。それぞれ、イタリア、フランス、コロンビアという異なる国籍だったため、アパート生活は非常に楽しいものだった。それぞれの文化の違いや国についての話をするのはとても楽しいものでした。特に、スペイン語が母国語であるコロンビア人の留学生には、スペイン語で苦労した際には相談に乗ってもらったり、一緒に大学のフットサルリーグに参加するなど、とても良い関係を築くことができた。また、世界各国から来ている留学生同士で家に集まり、映画を観たりパーティをするなど楽しい思い出を得ることができた。この出会いで現在でも連絡を取り合う友人も得ることができた。アパートでの共同生活は初めてで始めは少し不安もあったが、アパートメイトと話したり、掃除分担を決めたり、インターネット設備の取り付けに奮闘したりと色々なことがあり、1人での生活より何倍も良い経験ができた。

学業以外では、大学のフットサルリーグに参加したり、地域のサッカーチームに混ざってサッカーをよくしていた。この経験で、現地の人々や生のスペイン語に触れることができた。サッカー大国であるスペインでは、やはりサッカー好きが多く、街中のバルでも放送されているサッカーを観る人で賑わっていた。スペインサッカーリーグの試合も現地観戦する機会もあり、そんな現地の

雰囲気を感じることができて、1人のサッカー好きとしてはとても嬉しかった。

スペインで生活をしてみて気づいた点として、文化の違いはもちろんだが、自分は日本人だという意識が以前より強くなったことがある。私が住んだセゴビアではアジア人がほとんどいなかったが、街中でよく中国人と間違われることが多く、決して差別を受けたというわけではないが、留学以前より自分は日本人だという思いが強くなった。ある意味で海外でも物怖じしないメンタルが身についたとも言えるかもしれない。また、日常生活でも大学も自分の意思をはっきりさせることが重要だと実感した。日本ではよく空気を読むとか物事をはっきり言わないことが多々あるが、スペインでは話すコミュニケーションが絶対の文化であるため、まずは自分の意思をはっきり言う必要がある。街で歩いていも知り合いがいれば話しかけるし、スペイン人はとても気さくなところがある。そうした背景から、自分から積極的にコミュニケーションを取れば比較的すぐに関係を築くことができる印象を受けた。そうした文化の違いを実感できたことは、国際関係学部で学ぶ学生としてとても有意義であった。

最後に、この半年間の交換留学に協力してくださった担当教授である森先生、海外事業支援をしてくださった国際関係学部の同窓会の方々、学生室の国際交流課の方、そして応援してくれた両親に感謝したい。半年間のみという留学生活であったが、様々な貴重な経験をすることができたのも協力してくださ

った方々、そしてスペインで私に温かく接してくれた人々のおかげである。私はこのスペインでの半年間を生涯忘れないと思う。来年からは社会人となるが、仕事でスペイン語を使用する可能性もあるためスペイン語学習は続けて行く予定であり、今回の留學生活で得たものもぜひ活かしていきたいと考えている。